

華風

特定非営利活動法人国際音楽協会

発行：2026年1月1日 第108号

〒650-0011 神戸市中央区下山手通 2-13-9

<http://www.zhonghua-huiguan.com/music/>

TEL 078-392-2711 FAX 078-392-2811



午歳を迎えて

NPO 法人国際音楽協会理事長 張文乃

明けましておめでとうございます。

旧年中は、本当に様々な場面でお世話になり心より感謝いたしております。

今年も変わらぬご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

今年は例年の行事にプラスして大きなイベントが2つ加わります。

2月22日(日) 午前11時30分～午後3時、ホテル北野プラザ六甲荘にて、私どものNPO法人国際音楽協会設立25周年祝賀レセプション&サンクスコンサートを開催させて頂く運びとなりました。会員の皆様そしてお友達の皆様をお誘いのうえ是非お祝いにご参加ください。

また8月20日(木)～23日(日)はコロナ禍により中断致しておりました「第7回中国音楽国際コンクール in 神戸」を中華会館、100番スタジオ、神戸市区民センターなどにて予定しております。会員の皆様のお力をお借りしながら1つまた1つと毎月の行事を開催し、沢山の皆様にお喜び頂ければと試行錯誤致しております。協会でこんなことが出来るといいなというご意見がございましたら、是非ご連絡ください。心よりお待ち致しております。

昨年、第62回、63回ロビーコンサート、呉旭玲先生の音楽生活50周年感恩音楽会もお陰様で好評の内に終わることが出来ました。それぞれの演奏会に、それぞれの感動や発見、喜びがあり、この幸せな時間を皆様と分かち合えることで、私たちの“絆”が強くなることを実感しています。これもひとえにご出演の皆様、会員の皆様、ご協力くださいました全ての皆様の多大なご尽力あればこそと協会一同心より感謝致しております。

さあ、今年も中国音楽を通して日中友好の輪、そして1人1人のやさしさを大きく大きく羽ばたかせ、平和な日々をより強く築いていけることを望んでいます。

皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

10月27日（月）第62回ロビーコンサート



国際女声アンサンブル・自由演劇倶楽部えん と共に



自由演劇倶楽部 えん

朝倉有子

今日はロビーコンサートに出演させて頂きありがとうございました😊お疲れ様でした。

楽しいコンサートで、私もお客様が喜んで貰える事が一番だと思っていますし今日のお客様が私達を引っ張ってくださり、私達も人数的にも声の通りが丁度よく本当に楽しかったです。それにも増して交通費及び過分なお礼を頂き封筒開けてびっくり!!しました。

そして文ちゃん（この呼び方で呼ばせて頂いております）に会って先生の息子さんであるとの事で二度びっくり!!しました。何か凄縁（私達もえんです）でびっくり!!しました。今後とも宜しくお願いします😊

今日は本当にありがとうございました😊美しい衣装と素敵な楽曲に、心躍ってみたり、しっとり落ち着いて聞き入ってみたりと、心に染み入る午後のひと時でした。

どうもありがとうございました

ロビーコンサート感想

K・Y様

10月の屋下がりのロビーコンサートを拝聴させていただきました。

まずは国際音楽協会の歌から。張先生の「さあ皆様も一緒に!」の元気な声掛けで会場がひとつになります。これから始まるコンサートへのわくわく感の盛り上がる大好きな歌からスタートしました。

1曲目の「生活是这样美好」中国の広大な野原と大きな空を連想させるさわやかな一曲でコーラスのハーモニーがさらに重なり合って人生の豊かさや美しさ自然の広大さを感じるこの曲でした。

2曲目の「月亮代表我的心」はテレサテンさんの歌唱でも有名な曲。静かに秋の夜空に輝く月を見上げ語らう恋人同士の静かな時間をしっとりと歌い上げていて素敵でした。

3曲目の「夕日」は誰もが知っている一曲ですがある意味とてもコミカルな歌詞でギンギンガラガラ、まっかっか、と楽しい歌詞のリズムが大正時代発表の曲とは思えない斬新さを感じました。久しぶりに真っ赤に沈む太陽を眺めたくまりました。

4曲目の「雨降りお月さん」は日本人の心に染み入る歌曲で、古き良き日本の嫁入り風景と秋のお月見の映像が一瞬にして頭に浮かぶ素晴らしい世界観を美しいハーモニーで表現され、ふいに目頭が熱くなりました。

美しい衣装と素敵な楽曲に、心躍ってみたり、しっとり落ち着いて聞き入ってみたりと、心に染み入る午後のひと時でした。

どうもありがとうございました

11月28日(金) Friendships&Thanks 友誼情声&感恩無限 Concert ～ ソプラノ歌手呉旭玲の歌声と共に ～



コンサートを終えて

細井 美和

先日、神戸朝日ホールで開催された「フレンジップ&サンクスコンサート」。私は残念ながら体調不良で急遽参加を見送ることになり、見に来てくれるはずだった職場の友人達にもお詫びの報告を入れて、その日の午後は、時々出てくる咳を恨めしく思いながら、ソファで横になって過ごしておりました。

夜7時を過ぎた頃でしょうか。突然私のスマホメッセージが届きました。送り主は、お昼にお詫びを入れたばかりの30代の友人でした。メッセージを開くと、「本当に素敵でした☆」の一言と、舞台上で心を一つに歌っている合唱団の写真が添えられていました。その写真を見た瞬間、私は参加できずにもやもやしていた心がパッと晴れたような気がしました。

週が明けて、別の友人が「実は私も見に行ったの。」と報告をくれました。二人でお昼を食べながら話をしていると、「一曲目の歌い出しで心を鷲掴みにされたわ。この合唱団は本物やと思った。」と嬉しい一言。その後続いて、合唱団の煌びやかな衣装はどこで揃えたものなのか、中国語の歌詞は皆さんどうやって覚えているのか、練習はどこで行っているのか等々、尽きることのない質問を浴びせられました。褒められてすっかり鼻が高くなってしまった私は、彼女の質問に一つ一つ答えながら、そうだ彼女を合唱団にお誘いしようと思い立ち、遠回しにうかがってみました。根っからのスポーツマンの彼女は、自分は動き回っての方が性に合ってるからと軽く微笑んでお断りされてしまいました。ただ「新しい世界を見るっていいね。また見に行くから。」と約束してくれました。

私は合唱団の一員として、友人の感想をとても嬉しく、誇らしく思いました。また同時に、初めて合唱を聞きに来られた方々の心をここまで掴むことができる私達合唱団の力は正に「本物」ではないかと思いました。

これからも、私達合唱団の活躍は続きます。時に思う様に声が出ないことも、中国語が頭に入っていないこともあります。一人でも多くの方に喜んでいただけるように、これからも楽しんで練習に励んでいきたいと思ひます



コンサートを観賞して

松本陽子

国際混声合唱団所属の進藤麗子さんよりご案内をいただき、11月28日(金)の演奏会に母と共に伺いました。

久々に訪れた神戸は、クリスマス前の賑わいで昔の記憶を辿りつつ神戸朝日ホールに向かいました。

国際音楽協会主催の演奏会は今回が初めてでしたが、終始、客席とステージには明るく和やかな雰囲気があり、指揮者の張先生、ソリストの先生方はもちろん、各合唱団の皆さまが生き生きとステージに立たれていたことが大変印象的でした。

張先生の指揮は、客席から拝見しても大変表情豊かで力強く、美しかったです。合唱団の皆さんの声を自在に引き出しておられるように感じました。

皆さまの流暢な中国語に驚いたり、中国の優しい響きの言葉や旋律に懐かしさを感じたり、オペラアリアの華麗なフルート演奏、ピアノ演奏と共に呉先生のチャーミングな歌も堪能いたしました。演奏の合間に入る、先生方のお話も楽しかったです。

音楽を通して、あの日ホールで一緒した皆さんとほっこりと心がつながるような感覚があり、母も私もあたたかく満たされた気持ちで帰宅いたしました。

皆様の音楽活動が、文化の懸け橋となり相互理解や平和、共生へと繋がりますように。これからもますますのご活躍をお祈り申し上げます。





衆議院議員 高橋光男様の
秘書 青木勇人様



角家 道子 flute

呉旭玲先生 50 周年おめでとうございます。この度は台南文化原生劇場公演から 3 回目の“Friendships & Thanks Concert 2025” ご一緒させて頂き、とても貴重なひと時でした。

今回は出演者来日直前の緊急入院に伴い、空港より直行の呉先生と曉鈴さんと 3 人で急遽自宅で作戦会議リハーサル、本番はドキドキ、ワクワク... そしてなんと笑顔で終演!!!

緊急な事態における呉先生の対応力と温かく大きな人間力は、憧れと大きな学びでした。

また次回の共演を心待ちにしております。



自民党

《お祝い》

「Friendships&Thanks」Concert の開催をお祝いしお慶び申し上げます
美しい音楽に魅了され市民が楽しむ
素晴らしい機会となります事を期待
致しますと共に張文乃理事長を始め
その国を代表する文化であり華でも
ある音楽を架け橋にして互いの国の
文化に触れ交流と親善を図られます
事に敬意を表し今後益々のご活躍と
NPO 国際音楽協会の更なるご発展を
心からお祈り致します

自由民主党副幹事長
参議院議員 (兵庫県選挙区)

かだ裕之

日々の活動を配信中!!
f t i c かなめ之



URL : <https://kadahiroyuki.com/>
E-mail : h_sanin3@kadahiroyuki.com



12月8日（月）第63回ロビーコンサート



「自作ポータブルパイプオルガンコンサート」を聴いて 大阪音楽大学 作曲家講師 NPO 法人国際音楽協会理事 南川弥生

12月8日、中華会館6階ロビーにて田中祥司氏による「自作パイプオルガンコンサート」が開催され、満席のお客様を魅了されました。

パイプオルガンといえば、関西では「ザ・シンフォニーホール」「京都コンサートホール」「神戸松蔭女子学院大学チャペル」「姫路パルナソスホール」「東梅田協会」などがありますが、数百本から数万本のパイプを持つ巨大な楽器が壁に据え付けられた物で、もはや建造物というイメージです。

それを手創りして演奏活動を行なっているのが田中氏で、奥様が元大阪音楽大学ピアノ科講師でお母様がピアノの先生、お祖父様は作曲家というご縁でお招きできました。

元々、音響メーカーに勤務され、退職後は、オルガンやスピーカーの制作を自宅で行われておられます。

手創りと簡単に言いますが、木製の枠、鍵盤、パイプ、送風装置、ストップなどすべてが自作です。パイプは知り合いの工場で作して貰ったものを使っていますが、音の調整にも大変な時間がかかり、1台制作するのに三年の年月を要するというものでした。

また、制作されるだけでなく、ご自身でバッハの作品などを演奏されるのですから、これまでの音楽経験が活かされる活動をなさっておられます。

プロのオルガニスト土橋薫先生（大阪音大オルガン科）がこの楽器を使って演奏されたり、フルートやヴァイオリンなどとも共演されたり、全国的に活動の場を広げておられます。

今後も益々、この珍しいオルガンの音色を拡げ、多方面でのご活躍をお祈り申し上げます。



日本オルガン研究会会員 田中祥司

49 鍵5 ストップ自作ポータブルパイプオルガンは、持ち運びができて様々な場所でパイプオルガン独特の美しい音色を楽しめる世界に1台の楽器です。

衣装ケース位の大きさと約 10kg の重さで、従来の約 1/10 の超小型軽量を実現しました。

小型パイプで低音を出せる特許取得済の新方式を用い、色々な音色を出せるように5 ストップ 250 本のパイプを高密度実装しました。

パイプに空気を送る内蔵送風機も小型静音化しています。

各パイプは着脱可能且つ楽器を動かしても外れない独自方法で取り付けられています。

楽器の小型化に比例して音量は小さくなるため拡声を併用していますが、パイプ至近距離に配置した多数個内蔵マイクロホンで生音そのままに拡声できます。

小型軽量でも必要音域と綺麗な音色を確保するための多数の繊細な部材の作成と精密組立て、及び全てのパイプを音色を調整しながら1本1本手作りするなど、設計と製作あわせて3年掛かりました。



(7)

お知らせ

拝啓

冴え切った空気が漂う季節、皆様におかれましては日々ご健勝のことと存じます。

この度、NPO法人国際音楽協会設立25周年を迎えましたことに際しまして、下記の日程で感謝の集いを開催する運びとなりました。これまで、ご指導ご鞭撻賜りました皆様と共に 25 年の歩みを振り返り、未来への夢を語るひとときを過ごせればと思います。

ご多忙のことと存じますが、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

敬具

2025 年 12 月吉日

NPO法人国際音楽協会理事長 張文乃

記

日時:2026年2月22日(日)

受付:午前11時30分

開宴:正午12時～午後3時

場所:ホテル北野プラザ六甲荘 (TEL078-241-2451)

(JR 三宮駅山側から六甲荘の送迎バスあり／① 11 時発、②11 時20分発)

会費:7000円

申し込み書

ご出席 (バス乗車 ①、 ②、) ご欠席

ご芳名:

ご所属:

ご住所:

お電話:

以上ご記入の上ご返信を宜しくお願い致します。

返信先:ima104@zmail.plala.or.jp

TEL:090-6552-1275(福島)

FAX:078-241-8339

